



見頃を迎えたしだれ梅。花々が咲きこぼれる＝南あわじ市八木馬回

八木のしだれ梅 ■南あわじ市

天から春色

壮麗な枝ぶりで淡路島の初春を彩る風物詩「八木のしだれ梅」（南あわじ市八木馬回）が見頃を客を魅了している。

地元の村上旭さん（85）が50年ほど前、苗木を購入して自宅の庭に植えた。当時は樹高2メートルだったが、丹精込めて世話を続けると樹高7メートル以上に成長し、枝は幅約12メートルにまで広がった。

花の名所として定着し、今年も家族連れやカップルらで大にぎわい。「こんなに大きい梅は初めて」とため息まじりの声があちこちで聞かれた。村上さんの長男正尚さん（59）は「もうすぐウグイスも鳴き、情緒が出る。春よ早く来い」と穏やかな表情で話した。

3月上旬まで。見学自由。26日からライトアップ（日没〜午後9時）がある。南あわじ観光案内所 ☎0799・52・2336 （佐藤健介）

名前【 】

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① この写真のしだれ梅が見頃を迎えています、その様子を記事では、どのように表現していますか？

[]

② このしだれ梅を育てている村上さんは、およそ何年前に苗木を植えたのですか？

[]

③ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

[]